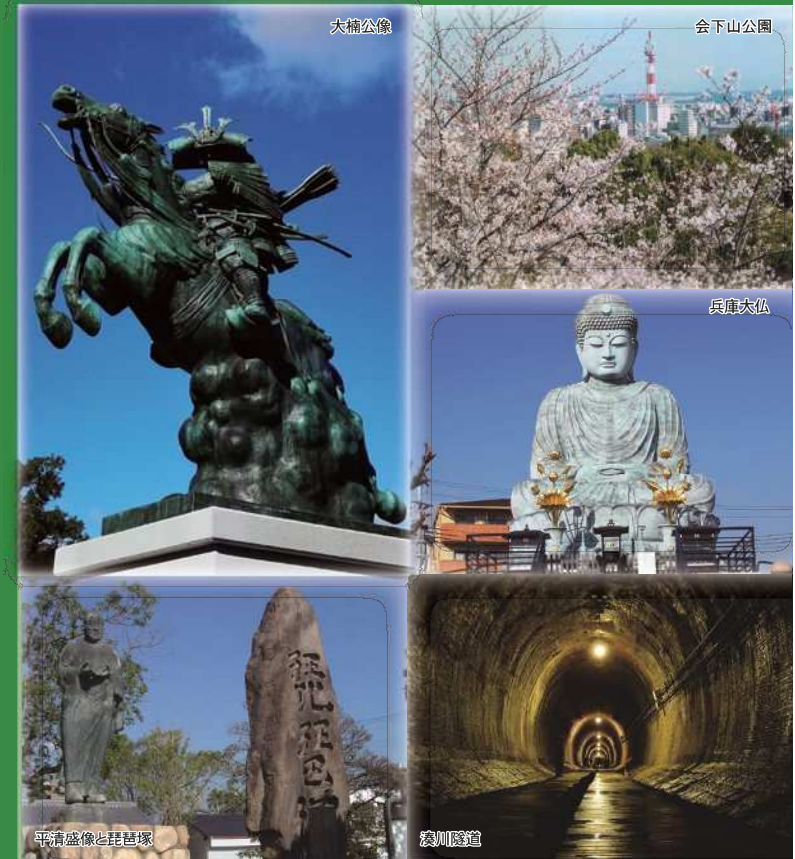


楠木正成と南北朝の争乱

兵達(つわもの)の足跡を訪ねて



コース周辺鉄道路線案内



- 市営地下鉄他社線のりかえ駅
- 市営地下鉄西神・山手線／海岸線のりかえ駅、他社線のりかえ駅

● 本コースの最寄り駅 ●

- 市営地下鉄海岸線「和田岬駅」(「三宮・花時計前駅」より約10分)
- 神戸高速線「高速神戸駅」(阪急・阪神各「神戸三宮駅」より約4分)
- JR「神戸駅」(JR「三ノ宮駅」より約5分)

発行／神戸市兵庫区役所
協力／市沢哲、神戸市教育委員会
平成25年3月発行(令和6年3月改訂)

KOBE CITY OF DESIGN リサイクル適性(A) この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。この散策マップは、古紙配合再生紙を使用しています。

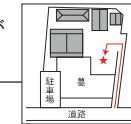
E 福厳寺 ふくごんじ

福厳寺は釈迦如来を本尊とする禅宗南禅寺派の寺院で、仏燈国師が14世紀はじめに開いたと伝えられています。元弘3年(1333)に後醍醐天皇が隠岐から京へ還幸の途中、この寺に立ち寄って行在所とし、楠木正成や赤松則村など数千の公卿や武士が天皇をお迎えにあがりました。また、この寺は後醍醐天皇が隠岐への途中「湊川の西の宿」で泊まれたと記録されていることから、当時は会下山の麓にあったのではないとも言われています。



F 阿弥陀寺 あみだいじ

阿弥陀寺は阿弥陀如来を本尊とする浄土宗の寺院です。境内には戦災で変形・変色した「楠公供養石」があります。これは湊川合戦で「魚の御堂」に本陣を置いた足利尊氏たちが、敗れた楠木正成の首を置いて首実検(首あらため)をした石だと伝えられています。その後、この石は黒田長政の神戸別邸にありましたが、その屋敷が兵庫の絵屋・鷹見家に譲り渡され、同寺に寄贈されています。



G 薬仙寺 やくせんじ

薬仙寺は天平18年(746)に行基が開いたと伝えられる寺院です。元弘3年(1333)、後醍醐天皇が配流先の隠岐を脱出し、福厳寺に身を寄せたおりに、薬水を献上したことから薬仙寺の名を賜ったとも伝えられています。もとは天台宗でしたが、延文元年(1356)、住僧真如は念仏修行に訪れていた時宗の僧国阿の門弟になり、時宗に改宗しました。本尊の薬師如来坐像は国の重要文化財に指定されているほか、境内には「後醍醐天皇御薬水薬師出現古跡湧水の碑」や「神戸空襲戦没者慰霊碑」、「萱の御所」などがあります。



コース案内

史跡を巡りながら、楠木正成の勇姿に思いをはせる。

鎌倉時代から室町時代にかけて、鎌倉幕府の滅亡や後醍醐天皇の親政、足利尊氏の反乱、室町幕府成立など、戦乱の時代を迎えます。

兵庫のまちは、後醍醐天皇方の武將と足利尊氏が率いる武將とによる「湊川の戦い」の主戦場となりました。

このコースでは、後醍醐天皇方の武將として活躍した楠木正成やこの時代に関する史跡を紹介します。

A 湊川神社 みなとがわじんじや

湊川神社は延元元年(1336)に「湊川の戦い」で自刃した楠木正成(大楠公)とその子、正行(小楠公)が祀られており、兵庫県初代知事である伊藤博文が創建に尽力し、明治5年(1872)に建てられました。



境内には、元禄5年(1692)に、徳川(水戸)光圀が侍臣の佐々介三郎を遣わし建てさせた楠公墓碑があり、「嗚呼忠臣楠子之墓」の文字は光圀の筆によるものです。また、自刃の場が本殿の西側奥にあり、墓碑とともに国の重要文化財史蹟に指定されています。

現在でも多くの参拝客が訪れ、神戸では「楠公さん」と呼ばれて親しまれています。

B 大楠公像 だいなんこうぞう

昭和10年(1935)、大楠公六百年祭を記念して齊藤素蔵作の大楠公像が湊川公園南部に建てられました。公園北部に移されていましたが、公園の再整備に伴い、再び南部にもどることとなりました。



C 楠木正成 本陣の碑 くすのきまさしげほんじんのひ

湊川合戦のときには楠木正成がこの山に本陣を置いたと伝えられています。楠公の陣所は『太平記』には「湊川の西の宿」にひかえて陸路の敵に備えたといわれており、『梅松論』には「湊川の後ろの山より里まで」と記されています。



会下山公園には楠木正成本陣の碑があり、この碑に刻まれている「大楠公湊川陣之遺蹟」の文字は日露戦争でも活躍した東郷平八郎の筆によるものです。また、この公園は桜の名所として知られ、神戸市の「新・こうべ花の名所50選」にも指定されています。

D 福海寺 ふくかいじ

福海寺は釈迦如来を本尊とする禅宗南禅寺派の寺院で、建武年中(1334~35)に足利尊氏が在庵円有に開かせたといわれています。もとは二本松(JR兵庫駅の西)にありましたが、嘉吉の乱(1441~43)で焼失し、現在の位置に移ったと伝えられています。現在では大黒天をまつり、毎年1月9~11日には「大黒祭」が催され、向かいの柳原蛭子神社とともに参詣客でにぎわいます。



【南北朝の争乱と神戸】 なんぼくちやうのそうらん と こうべ

鎌倉幕府の滅亡から南北朝内乱にかけての時期、兵庫は幾度も戦場となりました。元弘3年(1333)には、鎌倉幕府の西国支配の要であった京都の六波羅探題と、鎌倉の兵を挙げた播磨の赤松氏が、平野、兵庫から摩耶山にかけて戦闘をくりひろげました。この戦いに勝利した赤松氏は京都へ兵を進めます。鎌倉幕府が滅亡すると、後醍醐天皇を中心とした建武政権が誕生しますが、これに離反した足利尊氏は延元元年(1336)京都での合戦に敗れ、後醍醐天皇方の軍を兵庫でふり切って九州へ敗走しました。尊氏は湊川で新田義貞、楠木正成らを破り、京都に入って室町幕府をひらきます。このように、兵庫がしばしば政治を左右する重要な戦いの場になったのは、この地が京都と西国を結ぶ「出入り口」であったからです。京都に攻め上る軍勢とそれを防ごうとする軍勢の衝突、京都から西に逃れる軍勢とそれを追う軍勢の衝突が、南北朝期の兵庫でくりひろげられたのでした。



湊川合戦図(前田吉彦 画)

【楠木正成と神戸】 くすのきまさしげ と こうべ

延元元年(建武4年、1336)、新田義貞、楠木正成は、九州・西国の大軍を率いて京都を目指す足利尊氏を、湊川で迎え撃ちました。『太平記』によると、正成は尊氏を京都に引き入れて包囲する作戦を提案しましたが、公家たちの支持を得ることができず、死を覚悟して湊川に赴いたといえます。義貞は海側、正成は山側に陣を構えましたが、地元のいい伝えでは、正成は夢野の二本松古墳を本陣にとったといわれています。古墳は現在の会下山公園の西側にありましたが、浄水場建設のため昭和のはじめに取り壊されました。この古墳の上からは和田岬まで見渡すことができたといえます。同時期に古墳を築き改造した例は、芦屋市の金塚塚古墳にも見られます。正成は大軍を敵に回し奮戦しますが、午後5時頃には合戦を見切り、火を放った民家で自害しました。正成の首は足利方の細川氏によって兵庫の魚の御堂に運ばれ、供養が行われたといわれています。



「大楠公像」(横山大観 画)

豆知識

● 湊川公園 いまむかし

この公園は湊川を明治34年(1901)に付け替えたあとを理め立て、明治44年(1911)に湊川公園として開放したものです。ここには、大正13年(1924)、当時日本一の高さをほこる神戸タワー(高さ90m)が建てられていましたが、昭和43年(1968)に老朽化のため解体され、現在では時計塔が建てられています。



破損前の聖徳太子像



神戸タワー

また、公園内には大楠公像のほかにも、大正10年(1921)に聖徳太子の銅像が建てられました。公園に聖徳太子像がおかれている理由は、7世紀のはじめに太子が創建した法隆寺の領地に、今の夢野、上沢、湊川、会下山一带がなっていたことに由来しています。聖徳太子は、仏教を奨励し、領民に善政をしたので、領民たちは太子を誇りとしていました。しかし、阪神・淡路大震災により、聖徳太子像は破損し、今では馬の銅像だけが残っています。

● 池長孟と牧野富太郎

「日本植物学の父」といわれる牧野富太郎は明治以降の近代植物分類学の巨人であり、『牧野日本植物図鑑』などの著作を残しましたが、彼の標本と研究拠点が一時神戸にあったことはあまり知られていません。



池長植物研究所 大正7年神戸市立博物館蔵



牧野富太郎 国立国会図書館 ホームページより転載

南蛮美術の収集で知られる池長孟^{きく}は牧野を援助し、兵庫区会下山に池長植物研究所をつくりました。池長孟(1891~1955)は兵庫の名家の主人で、その財産をつぎこんで7,000点に及ぶ洋風美術のコレクションを蒐集し、池長美術館をつくりました。戦後、コレクションは神戸市に委譲され、現在の神戸市立博物館に引き継がれています。

● 水木しげると神戸

「ゲゲゲの鬼太郎」などで知られる漫画家の水木しげる(本名:武良茂)氏は、大正11年(1922)に生まれました。鳥取県境港市での幼少期から好奇心が旺盛で、近所の老婆(通称:のんばあ)から不思議な話を多く聞き、妖怪や精霊に興味をもつようになります。画家を志していた水木氏は昭和21年(1946)に戦争から帰還したあとは、兵庫区水木通でアパート「水木荘」を経営し、住人の影響で紙芝居作家としてデビューします。ペンネーム「水木しげる」は、この兵庫区の地名からつけられました。



水木荘にて



「ゲゲゲの鬼太郎」(妖怪の森大パノラマ)

楠木正成と南北朝の争乱

つわもの
兵達の足跡を訪ねて

MAP

楠木正成と南北朝の争乱く兵達の足跡を訪ねて

モデルコース(約8,100m)消費カロリー約245kcal

A みなとわじんじや 湊川神社

神戸高速線
「高速神戸駅」下車すぐ
JR「神戸駅」、市営地下鉄
「大倉山駅」より徒歩約3分

約1350m
徒歩約18分

B みなとわこうえん 湊川公園

市営地下鉄「湊川公園駅」、
神戸電鉄「湊川駅」
下車すぐ

約1300m
徒歩約18分

C えげやまこうえん 会下山公園

市営地下鉄「湊川公園駅」、
神戸電鉄「湊川駅」
徒歩約18分

約3000m
徒歩約40分

D ふくかいじ 福海寺

JR「兵庫駅」より
徒歩約5分

約250m
徒歩約3分

E ふくごんじ 福厳寺

JR「兵庫駅」より
徒歩約8分

約1700m
徒歩約20分

F あみだいじ 阿弥陀寺

市営地下鉄海岸線
「和田岬駅」より
徒歩約10分

約500m
徒歩約7分

G やくせんじ 薬仙寺

市営地下鉄海岸線
「和田岬駅」より
徒歩約10分



★は日本遺産認定の関連史跡があります

コース付近のみどころ

みなとわじんじや えげやま 湊川隧道(会下山トンネル) MAP 1

明治29年(1896)の豪雨で大洪水が発生し、それを契機に地元の実業家たちが発起人となり、湊川改修株式会社が設立され、湊川の付け替え工事が行われました。明治34年(1901)、旧湊川は菊水橋付近から付け替えられ、会下山をくり抜いたトンネル(湊川隧道)を流れ、苅藻川に合流する新湊川が誕生しました。湊川敷地は造成整備されて湊川・新開地とよばれ、歓楽街として発展していきます。わが国初の近代河川トンネルとして同年8月に竣工した湊川隧道は、創設時は延長約680メートル、幅7.3メートル、高さ7.7メートルで、当時としては、世界最大級の規模でした。平成13年(2001)には、「湊川隧道保存友の会」が組織され、現在、毎月第3土曜日に湊川隧道内の一般見学を行っています。また、毎年11月には湊川隧道通り抜きのイベントが開催されます。



湊川隧道公式WEBサイト
<http://minatogawa-zuido.com/>

こんこうじ 金光寺 MAP 2

金光寺は海中出現と伝えられている薬師如来像を本尊とする真言宗の寺院で、承安3年(1173)、隆善法師の開基といわれています。一般には「兵庫の薬師さん」で知られています。江戸時代、この寺で太平記講釈が盛んであった記録が残っていますが、なかでも寛政12年(1800)の楠公まつりから50日間、太平記軍書講談を催したことが『北浜総会所日記』に書かれています。

ふじのてら 藤之寺 MAP 3

藤之寺は阿弥陀仏を本尊とする浄土宗の寺院です。兵庫津の豪商である北風家の伝承によると、もと白藤姓を名乗っていた北風家が建武3年(1336)に新田義貞に味方し、北風に乘じて足利尊氏と勇敢に戦ったことから「喜多風」(後に「北風」に改める)の名を与えられたといわれています。もとに西光寺と号していましたが、この寺は北風家の菩提寺であり「白藤氏の菩提寺」ということで、俗に「藤の寺」と呼ばれたといわれています。

周辺情報

◆ メトロ神戸 ◆

神戸高速線「新開地駅」から「高速神戸駅」までの地下街は、「メトロこうべ」とよばれています。「メトロこうべ」は個性あふれる専門店が立ち並び、買い物や食事が楽しめます。また、他にも卓球場や古書店もあり、どなたにも楽しんでいただけます。



【神戸高速線 新開地駅】「高速神戸駅」下車すぐ

